

## 大阪教区仏教壮年会連盟 仏教壮年交流会

大阪教区仏教壮年会連盟 理事長 西尾豪士

大阪教区仏教壮年会連盟では、仏壮会員の交流の場として 1 日現地研修バス旅行と仏教壮年交流会（落語会）を開催しています。残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から行事開催の見通しが立っていないため、今回は今年 2 月に実施した仏教壮年交流会についてご紹介します。

著名な落語家を招いての落語会を開催しています。今年は桂ざこば門下の桂米紫(べいし)さん。開口一番「仏教壮年会の皆さまの前で落語をするのが、小さい時からの夢でした」。ドッカーンと大爆笑で始まりました。例年落語は 2 席で 1 つは仏教に関するもの。過去には当然「お文(ふみ)さん」などもありました。あと 1 つは自由題です。また当日は落語会の前に「単位会活動紹介」の時間も設けています。頑張っている地域で活動されている単位会の代表者がその活動内容を発表します。参加されている他の会員の方の参考や刺激になればという思いで実施しています。

落語の後は、用意したオードブルを囲んで、桂米紫さんも交えての懇親会を行い、最後に豪華景品？満載のビンゴゲームです。景品が豊富なことからビンゴ目的の人もあるとの話も。過去に交流会として、ゴルフコンペやボーリング大会も開催していましたが、参加者の顔ぶれが固定化してきていましたので、5 年前から落語交流会に切り替えました。子どもさんも参加していただくなど年齢層にも広がりが見られ最近では定着した感があります。ただ年々参加者は減少傾向であり、マンネリ化も感じられることから、今後さらに工夫を凝らし、寺や組の枠を超えた会員間のパイプを太くし組織の拡大につなげていきたいと考えています。



開会式でのお勤め



落語 桂 米紫 師



参加者との記念撮影